

伊藤病院だより
SPRING

Voice

2019年3月1日発行 第65号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



上空から見た表参道



副院長
杉野公則

院長
伊藤公一

看護部部长
石澤緑

院長 伊藤公一

まもなく元号が変わり、我が国にとって新しい時代が到来します。そこで節目に当たって、あらためて私共の姿勢を紹介いたします。

当院は創業時より甲状腺疾患専門でした。その後、その守備範囲を自覚しつつ発展。昭和、平成と2つの時代で、ひたすらにミッションを貫いてまいりました。

そして新しい時代に向かっても、専門医療機関ならではの独自の良質な医療サービスを差上げるよう、常に創意工夫していくつもりであります。

広報誌“Voice”も発刊17年目となりました。

そこで今後も我々の日記帳でもあるこの季刊誌を通して、私共の活動を、少しでも御理解頂ければと思っております。

“Voice”からお伝えしたいことは三つございます。

まずは甲状腺疾患の啓蒙です。残念ながら全ての疾患に罹らないための予防法は存在しませんが、診断・治療は進歩をし続けております。

そのなか、伊藤病院と、分院である名古屋甲状腺診療所(平成16年開業)、さっぽろ甲状腺診療所(平成29年開業)、診療連携施設である福岡・やました甲状腺病院は、密な連絡を取りつつ担当領域については常に最高の医療を提供しております。

それらの成果を、誌面を通して患者様や御家族、診療連携医の先生方にお伝えしてまいります。

二つ目は、私共の日記帳としてのページです。様々な活動を通じて、職員が一丸となって、目標に向かっていく姿勢を御理解頂ければと存じます。

そして三つ目は、観光地でもある表参道の情報を発信することです。オリンピック・パラリンピックでも主役となる街の模様を、多くの方々に紹介し続けてまいります。

今年度も、私共の手作りの広報誌“Voice”をお読み頂ければ幸いに存じます。

副院長 杉野公則

“ゆっくりと確実に”

年齢を重ねるごとに、月日が過ぎる早さを実感しているご同輩も多いと思います。若い頃はついつい目先のことにとらわれがちですが、残された時間が見えてまいりますと、5年、10年という少し長い期間でなすべきことを考えるようになります。

しかし、突然の病による入院や治療は計画していた事柄の変更を余儀なくしてしまいます。当院に通院しておられる患者様のなかにも、同じような思いをされた方々も多いものと拝察いたします。私自身も昨年、入院・治療を受けることになりました。幸いにも就業や生活にも差し支えなく過ごせておりますが、そのことが改めて考えさせる経験となりました。

甲状腺がんの多くは進行が緩やかで、急いで治療を要することが少ない疾患であります。とかく結果を早く求めるご時世であります。じっくりと病気に向き合っていくことが豊かな人生につながってまいります。「日々是好日」、文字通りには毎日は素晴らしいことを示しますが、日々の善し悪しに一喜一憂せずに、毎日を送っていくと解釈することもできます。今日、悪い知らせがあっても、明日からは前向きに生きていきたいものであります。

残念ながら、十分な時間をとって診療を行っているとは言いがたい当院ではありますが、医療が患者様の人生に大に関わっていることを改めて考え、より良い診療ができるように努めてまいります。

看護部部长 石澤緑

今年新たな年号が始まる年であり、日本中がその期待と次の未来につながる希望に満ち溢れています。一方、平成を振り返ると日本全体で地震や大雨による水害などの自然災害が多く発生し、数々の困難を乗り越えてきたのではないかと思います。当院においても8年前の東日本大震災の際には、多くの混乱が生じました。自然災害は、いつどこで発生するかわかりません。そのため、日頃からの備えや訓練が大切であることを様々な災害から学んでおります。

当院では、災害発生時に患者様やご家族の皆様を安全に避難誘導ができるよう、定期的に職員の教育訓練を行っております。また、災害時であっても診療を安全に継続するための計画等を見直しております。

看護部では、2010年より東京都看護協会が主催する災害支援ナースの登録をしております。現在、研修を受け登録した看護師は13名おります。災害支援ナースは、災害発生時、被災地の病院や避難所へ派遣され、患者様のケアや避難所の環境整備、生活支援を行います。看護部では、災害支援ナースのスキルを看護部内の災害研修に活用し、いざという時に行動できるよう努めております。

起きては欲しくない災害ですが、今後も患者様やご家族の皆様が安心して通院・入院ができるよう万全な備えを目指し取り組んで参ります。

医療の国際化に向けて

◆伊藤院長がRSR Limitedで講演しました

昨年11月6日、伊藤公一院長がイギリス・カーディフ市において、「Diagnosis and Management of Graves' Disease -the Ito Hospital Strategy」をテーマに講演しました。

主催したRSR社は、バセドウ病の診断では欠かすことができないTSHレセプター抗体の測定方法を初めて確立した、甲状腺疾患研究の第一人者であるDr. Bernard Rees Smithが設立した会社です。

聴衆は現地の医師と研修者であり、伊藤院長は講演で甲状腺疾患全般の話とともに、日本の医療制度や医師の育成・教育の仕組みなども紹介しました。



伊藤院長とDr. Smith

◆カンボジア病理医が当院で研修しました

伊藤病院 病理診断科科长 加藤良平

カンボジア王国は東南アジアのインドシナ半島南部にある国ですが、病理医が非常に少なく、より質の高い診断を行うために病理医の育成が急務となっております。今回、厚生労働省の事業により、甲状腺腫瘍の病理診断について学ぶため、2018年11月20日にカンボジア王国からHuy Chan KonさんとPrak Thav Sothavinさんが当院病理診断科にいらっしゃいました。

お二人はいずれも病理研修医で、病理標本の見学とともに診断方法について熱心に研修されました。この度の研修を活用され、病理診断医としてカンボジアの医療を支えていかれることを祈っております。



◆中国甲状腺癌診断治療サミット ～西安(中国)～

伊藤病院 診療技術部部长 北川巨

2018年12月15日～16日に、中国の西安にて中国甲状腺癌診断治療サミットが開催されました。この会議は日本と中国の最新の甲状腺癌治療の現状を中国の先生方と討論する場であり、西安交通大学附属第一医院とオリンパス中国の主催でウィングダムグラント西安サウスホテルにて行われました。

会議が行われた西安は、紀元前1100年ごろから約2000年の間に数々の王朝の都として栄えた古都でシルクロードの起点でもあり、かつては長安と呼ばれていた都市です。秦の始皇帝の陵墓があり、近くには始皇帝を守る8000体以上の粘土を焼いて作られた実物大の兵士や馬が並ぶ世界遺産の兵馬俑(へいばよう)があります。

私は日本における甲状腺癌治療について講演をしてきました。日本では2010年に日本内分泌外科学会と日本甲状腺外科学会から「甲状腺腫瘍診療ガイドライン」が公開され、このガイドラインを基準にして各施設で甲状腺癌治療が行われています。2018年12月に新たな治療方針を加えた改訂版の「甲状腺腫瘍診療ガイドライン2018」が発刊されました。

今回の発表は、この新しいガイドラインをもとに日本における甲状腺乳頭癌の治療指針、微小癌の取扱い、新たな治療方法である分子標的薬の効果と有害事象、また甲状腺手術における新しいエネルギーデバイスや手術中の神経モニタリングなどについて解説しました。発表スライドは中国語バージョンを用意し、日本語での発表後、中国語での通訳が入るといいうままでに経験がない発表形式でした。

発表後は中国と日本での甲状腺癌治療の実際とその違いを中国の先生方と話し合うことができ、また親交も深めることができました。中国は大国ですべてにおいて規模が大きく、主催した西安交通大学附属第一医院の病床数は2560病床(日本の国公私立大学病院の最大でも1435病床)で、西安のある陝西省(せんせいしょう)では今後1万病床の病院建設計画もあるとのことでした。

今回、中国の医療情勢に接した貴重な経験と新たに得た知識を、当院の甲状腺診療に役立てていこうと思っております。



伊藤院長が国際治療談話会 総会の司会を務めました

昨年11月15日に第58回 国際治療談話会 総会が「IoT活用と遠隔医療」をテーマに開催され、C型肝炎に関するルジチカ ダニエル 純一郎先生による石橋記念講演の司会を会の常任理事でもある伊藤公一院長が務めました。

この会を主催する公益財団法人 日本国際医学協会は、医師の卒後教育推進を目的に、大正14年(1925年)に発足した医学談話会が起源となっている大変歴史のある会です。昭和30年代に現在の国際治療談話会に改称され、現在も継続して医師の生涯教育と国際医学交流の促進に取り組まれております。また、特にドイツとの医学交流の歴史は長く、今回の総会でも日本医師会 横倉義武会長とともに、ドイツ大使館 マーティン ポール厚生労働参事官からも祝辞が述べられました。



日本臨床外科学会総会に参加しました

第80回 日本臨床外科学会総会が昨年11月22日～24日にグランドプリンスホテル新高輪で開催され、当院より伊藤公一院長、北川亘診療技術部部长、友田智哲医師が参加しました。

日本臨床外科学会は、昭和12年(1937年)に設立され、会員数も2万人近くを数える伝統のある学会です。年1回開催される学術集會では、全国から甲状腺外科をはじめ、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科など、幅広い分野で臨床に携わっている外科医師が集まります。

今回、「安全な神経温存甲状腺手術」をテーマとしたシンポジウムにおいて、伊藤院長が獨協医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授の平林秀樹先生と共に座長を務めるなか、北川部長は手術中に継続して神経モニタリングを行うことの有用性を、友田医師からは甲状腺周辺にある重要な神経を温存する手術の取り組みについて発表を行いました。このほか、北川部長は一般演題において、甲状腺手術においてマイク口波を使用した新しい手術用デバイスについての発表を行いました。

今回の学会で得た知見を今後の診療に活かしてまいります。

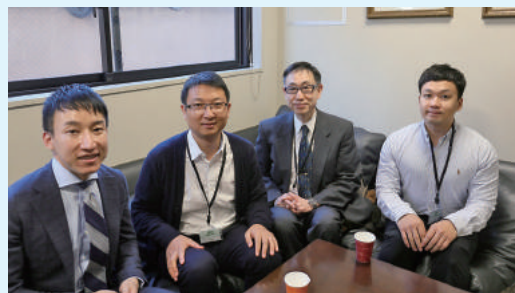
日本赤十字社医療センターから見学にいらっしやいました

伊藤病院 国際医療室 テイクン

去る11月14日、日本赤十字社医療センター糖尿病内分泌科部長である日吉徹先生が、短期研修で来日した中国江蘇省南通市中医院の糖尿病内分泌副主任である曹医師と共に見学にいらっしやいました。

今回の見学の主な目的は、曹医師に日本の医療事情をより知っていただくために、日本赤十字社医療センターのみならず当院も見学されて、日本の医療制度を少しでも理解して欲しいというところにあります。見学当日、受付、外来、検査、会計、処方など一連の流れや病棟などを見学された後、少しの時間を用いて国によって異なる医療事情などを話されました。

この頃、日本の医療が世界中でとりわけ関心を集めている中、今回のような機会を介して当院の甲状腺専門診療をより多くの海外の医療従事者の方々に紹介できることを光栄に存しながら、今後も国際交流をすすめて参りたい所存です。



日本赤十字社医療センター日吉先生(中央右)と曹先生(中央左)



高校生の課題研究に協力しました

千葉県立小金高等学校では、2年生に自ら立てた課題に対して、研究・検証を行う「課題研究」を実施されています。この度、この課題研究を行っている2年生お二人からインタビュー申し込みがあり、吉原医師が対応しました。



お二人の研究は「病気と体温の関係性」をテーマにされており、書籍やインターネットなどで調べるうちに、甲状腺の動きについて疑問を持たれ、当院に問い合わせされたとのことでした。

対応した吉原医師からは、一般的に体温は深部体温と皮膚体温の2つを指しますが深部体温は中枢神経や自律神経の動きが中心となっており、一定に保たれており、甲状腺の動きが正常である場合には深部体温に与える影響は少ないことなどをご説明しました。逆に甲状腺疾患により甲状腺ホルモンが正常を超えて高い状態や低い状態になった場合には、深部体温、皮膚体温にも影響しうることをご説明しました。難しいテーマではありますが、これまでの調査をもとに積極的に質問され、試行錯誤しながら大変熱心に課題に取り組まれていることが感じ取られました。

高校生インターンシップを受け入れました

伊藤病院 看護部病棟 菊地玲子・長沼侑里

今回、「職業体験を通じて、病院で働く様々な職種の役割と連携を知ってもらい、今後の進路選択の一助としてもらう」を研修目的とし、東京都立新島高校のインターンシップを3日間担当させていただきました。高校生は初めての場所で一人での参加という事もあり、とても緊張した様子でしたが関わるに連れて徐々に笑顔が見られてきました。実際にバイタルサインの測定や車椅子操作、手術後の流れを見学してもらいました。普段は見る事の出来ない職業に触れ、関心をもった様子が見られました。



今回の体験を通して、病院で働く様々な職業を知ってもらったことが、将来の進路決定の手助けとなればよいと思います。

国際医療福祉大学からの実習生を受け入れました

国際医療福祉大学は、1995年に開設された医療福祉を専門とする総合大学です。

そして、医療の経営管理と医療福祉を総合した「医療福祉・マネジメント学科」を開設し、広い知識を持った専門職の養成を行っております。

当院では、毎年、同学科の3年生を実習生として受け入れており、今年度は2名が1ヶ月間、当院で実習を行いました。実習を終えたお二人からご挨拶を頂きましたので、ご紹介します。



町田桃子さん(左)と水井さつきさん(右)

町田桃子さん

4週間実習をさせて頂きありがとうございました。

実習では、診療情報管理室や医事室をはじめ、たくさんの部署の見学や体験をさせて頂きました。診療情報管理室では、業務を体験させて頂き、大学で学んだことが実際に病院でどのように行われているのかを理解することができました。また、たくさんの部署を見学させて頂いたことで、他部署についての知識を深めることができました。検査や処置で使用されている機器や、医療材料の管理の仕方などを実際に目で見て学ぶことができ、とても貴重な経験となりました。

実習が始まった頃は不安がありましたが、職員の皆様がとても親切にかつ丁寧に指導して下さったため、本当に充実した4週間となりました。この4週間の実習で学んだことを、今後の勉強や就職活動などに活かしていきたいと思っております。

お忙しい中、丁寧に指導して頂き本当にありがとうございました。

水井さつきさん

伊藤病院で4週間の実習をさせていただきました。

実習では、診療情報管理室を中心に行い、医事室や多くの部署で見学やそれぞれの部署で行われている業務について学ばせていただきました。診療情報管理室では、診療情報管理士の役割や重要性について、大学で学んでいる診療情報管理についての知識を、実務を通してより理解を深めることができました。また、他部署の実習では、大学で学べない他職種について学ぶことができました。

今回の実習では大学で学ぶことのできない体験が多くでき、充実した実習となりました。この実習で得た知識を、これからの資格試験に活かし就職活動につなげ、励んでいきたいと思っております。

実習を担当して下さった皆様をはじめ、伊藤病院の職員の皆様、お忙しい中、丁寧に指導していただき、ありがとうございました。

学会活動

ピックアップ 第61回 日本甲状腺学会学術集会

伊藤病院 内科 蛭間真梨乃

2018年11月22日から24日、埼玉県川越市で第61回日本甲状腺学会学術集会が開催されました。今年は「甲状腺学の殿堂、未来への挑戦」というテーマのもと、甲状腺疾患の診療に関わる医療従事者、研究者が集いました。テーマには、本学会が甲状腺学の中心を担いながら今後更なる発展を目指していくという意味が込められています。

近年、様々な医学分野で遺伝関連の話題が取り上げられていますが、遺伝学は“未来への挑戦”の一つであり、本学会においても複数の遺伝子疾患や遺伝子解析関連の発表がみられました。また、以前から仕事における女性の活躍を更に盛り上げていこうという風潮がありますが、本学会では甲状腺分野に属する女性の医療従事者の団結と発展を目的に、今年からWomen in Thyroidology(J-WIT)が発足されました。本学会に所属するメンバーは既に年々女性の割合が増加している傾向のようですが、これから益々女性の医療従事者の活躍が増えていくのではないのでしょうか。

当院からは、内科医、外科医合わせて一般演題7題、特別講演2題の発表を行い、伊藤院長はじめ多くの医師が座長を務めました。発表を通して、日常診療に不可欠な知識をより深く探求し、会場では有意義な意見交換の場を持つことが出来ました。また、他の先生方の発表や講演を聴講することで、日常診療における疑問を解決し、他の施設での方針や見解を学ぶとても良い機会となりました。

今回得られた知見を生かし、日々の診療の質をより良いものにしていきたいと考えております。

発表演題

北川 亘	細径の甲状腺細胞診穿刺針では細胞採取量に変化はあるか？
大江秀美	甲状腺ホルモン受容体 β (TR β)遺伝子変異による甲状腺ホルモン不応症(RTH)の臨床像
國井 葉	橋本病からバセドウ病を発症した87例のHLA解析
鈴木美穂	バセドウ病131I内用療法時の甲状腺機能管理についての検討
関山ちひろ	FT3、FT4、TSHの年代別基準値
田所梨枝	マクロTSHによりTSH偽高値をきたした一例
蛭間真梨乃	粘液水腫性昏睡は低T3症候群になるのか

特別講演

渡邊奈津子	米国甲状腺学会の Women in Thyroidologyの活動について
鈴木章史	甲状腺髄様癌・未分化癌 ～外科医からみた初動エッセンス～

ランチョンセミナー

吉村 弘	ビッグデータが明らかにした甲状腺診療における諸問題
正木千恵	がん治療と腎マネジメント ～甲状腺癌に対するTKIをいかに使用するか～



表参道寄り道スポット

BREIZH Café CREPERIE

青 山通りから一本中に入り表参道の路地裏を歩いていると、フランスのブルターニュ地方を感じさせるカフェが見えてきます。今回ご紹介するのは、BREIZH Café CRÊPERIE表参道店(ブルックカフェ クレープリー)さんです。



こちらのお店は、カフェの激戦区表参道で20年前からガレットの専門店として営業をされています。フランス・ブルターニュ地方の伝統食でもあるガレットは、日本ではなじみが薄いとを感じる方もいると思いますが、実はクレープよりも歴史が深い食べ物です。そば粉を使用した生地、チーズや卵、ハムやベーコンを入れてバターを塗り香ばしく焼きあげます。こちらではフランスでも大人気の発酵バター ポルディエを使用したガレットもあり、素材ひとつひとつにもこだわりがうかがえます。おすすめは「季節のガレット」。季節の野菜や旬の食材を使用したこちらのガレットは、ほぼ毎月メニューが変わります。トラディショナルや定番のコンプレットなども人気だそう。お食事系のガレットの他にデザートとしてクレープも充実しています。香り高いバターとお砂糖で仕上げたシンプルなクレープは何枚でも食べられちゃいますね。

また、と年にはリンゴの微発泡酒シードルの専門店「CAVE À CIDRE」(カーヴ ア シードル)も併



発酵バター ポルディエと黒砂糖 850円(税込)

設され、カフェでもそのシードルを楽しむことができます。常時約20種類の品揃えで、本場フランス産のものだけでなく、日本産のシードルも取り扱っています。アルコール度数が約2~7%と低めで、甘酸っぱくさっぱりとした口当たりのシードルと、塩っ気の強いガレットの組み合わせはたまりません。もちろんシードルだけではなく、ハーブティーやオーガニックコーヒー、フレッシュジュースなどのドリンクも充実しており、そば茶も置いてあります。

このほか、かわいいお菓子もそろえてあるので、ちょっとした土産を用意するのにふらっと立ち寄るのにも楽しいですね。お店はとて

も人気で、特に土日のお昼時は混雑していることが多いので、開店してすぐが狙い目です。



お店の方から一言


ランチタイムには本日のスープやサラダ、季節のガレットとドリンクがセットになったメニューが人気です。ティータイムには人気の塩バターキャラメルクレープとオーガニックコーヒー、ハーブティーでのんびりとしたひとときを。そば粉はグルテンフリーで必須アミノ酸ルチンが豊富、シードルはポリフェノールたっぷりです。

店名	BREIZH Café CRÊPERIE 表参道店
住所	東京都渋谷区神宮前3-5-4
営業時間	火~土 11:30~22:30 (L.O) 日・祝 11:30~22:00 (L.O) ランチは15:00まで
定休日	月曜日(祝日の場合は営業 翌日火曜日休み)
アクセス	表参道駅 A2出口より徒歩6分
ホームページ	http://www.le-bretagne.com/j/creperies/omotesando.html
席数	54席
Wi-Fi	なし
タバコ	全席禁煙



表参道ランチ&グルメ情報

Shiny Owl 表参道店

 表参道駅A2出口から徒歩5分ほど、原宿2丁目商店街にあるカジュアルなデリ&カフェ。こちらが今回ご紹介する「Shiny Owl (シャイニーアウル)表参道店」です。



店内はゆったりとしたアンティーク調の落ち着いた雰囲気、テラス席もあり開放感もあるオシャレな空間です。外観からはカフェに思われがちですが、実はこだわり料理が自慢のお店です。



シェフ自ら全国の農家さんを訪問し選び抜いた、農家直送の新鮮で安全な美味しい有機野菜、無農薬野菜を使った創作料理やスイーツ・珈琲・お酒が楽しめます。

デイリーランチメニューの人気ナンバー1は「シェフの作った濃厚カルボナーラ サラダ付き(1,620円税込)」。とても濃厚なソースにカリカリのベーコン、アルデンテ仕様の麺はあとを引く味わいです。

他にもたくさんのメニューがあり、低炭水化物で女性に人気の「スープ&サラダデリ」や、「ホリデーランチ ライスorフォカッチャ サラダ付き(1,728円税込)」、「週末限定サンドイッチ サラダorポテトor9品目のスープ付き(1,512円税込)」では宮城県産黒豚ステーキサンドが、パルマ産生ハムとモッツアレラチーズサンドなどが選べます。

ティータイムメニューの「Afternoon Tea Set(1,296円税込)」は、飲み物とデザート&お茶うけの中からチョイスできるのですが、何をしようか目移りするほどのメニューの多さです。

セット以外のメニューももちろん充実。「カリカリベーコンとボタンエビの瞬間タイムスモーク」はエビとベーコンがスモークをまとって登場。スモークされた独特



の風味が味わえます。見た目驚いて、食べてさらに驚く一品です。

ランチ、ティータイム、ディナーどの時間帯でも厳選された旬の食材を使った四季折々のメニューが提供されています。

また、毎週金曜の夜は生演奏もあり素敵な音楽を聞きながら食事とお酒が楽しめます。

ご来院の際や原宿方面へ散策される際は、是非シャイニーアウルで美味しいものを頂きながらオシャレな時間を過ごされてはいかがでしょうか。



シェフの作った濃厚カルボナーラ サラダ付き(1,620円税込)



お店の方から一言

シェフ自ら全国の農家さんを回って選び抜いた美味しい無農薬野菜を使ったイタリアン創作料理をはじめ、手作りスイーツもご用意しています。特に当店自慢の「シェフの作った濃厚カルボナーラ」は、リピーター続出のイチオシ「絶品」です！是非一度お試しください。美容室(カリテス表参道店)も同施設内にあり、ヘッドスパでリラックスして頂くからのお食事やティータイムのご利用でも、ゆったりお過ごし頂けます。ご来店を心よりお待ちしております。

Voiceのご提示で5% OFF

店名	Shiny Owl 表参道店		
住所	渋谷区神宮前4-7-1		
電話番号	03-6851-4368		
営業時間	【月～土】	Lunch	11:30～15:00
		Tea	15:00～18:00
		Dinner	18:00～23:00 (L.O 22:00)
	【日・祝】	Lunch	11:30～15:00
		Tea	15:00～18:00
		Dinner	18:00～22:00 (L.O 21:00)
定休日	火曜日		
アクセス	表参道駅A2出口より徒歩4分		
平均予算	ランチ 1,200円～2,000円 ディナー 3,000円～4,000円		
席数	35席 (テーブル26席、カウンター5席、テラス4席) ※ライブの際立ち見カウンター 10席あり		
Wi-Fi	有り		
充電用コンセント	お席によっては充電可能		
タバコ	完全禁煙		

春の特集

プチ贅沢を味わおう!

自分へのご褒美や大切な方へのプレゼントにもどうぞ

- ①本誌からのコメント ②おすすめメニュー(税込) ③お店基本情報



1 瑞穂

①昔から原宿の定番で大人気の和菓子屋さん。手のひらにのるサイズ感でどっしりと重い豆大福は、あんこがぎゅっと詰まっています。塩気と甘さ、さらに柔らかいお餅と漉し餡がマッチしています。ちょっとしたお土産におススメです。 ②豆大福 1個238円 ③電話: 03-3400-5483 9:00~売り切れ次第 定休日: 日曜日、8月中旬、年末年始



お店からのコメント

ほんのり塩味のきいた豆入りのお餅と上品なこし餡とのバランスが絶妙。昔ながらの手作りで出来たてを販売しています。



2 セントルザ・ベーカリー 青山店

①銀座で行列必至の大人気食パン専門店の2号店! テイクアウト販売のみですが、産地や素材にこだわった3種類の食パンを購入することができます。ご家庭で焼きたての小麦の風味豊かな、食パン本来の味わいを感じてください。 ②角食パン 864円 ③電話: 03-6451-1067 営業時間: 10:00~19:00 (売切れ次第閉店) 定休日: なし



お店からのコメント

昨年11月にオープン致しました。現在、月~木曜日でしたらスムーズにお買取め頂けます。是非いらして下さい!



お店からのコメント

スペイン発のデザイナーズパティスリーです。パティシエの世界大会で“ベストチョコレートケーキ”を受賞したケーキ「シャビーナ」が人気です。

3 ブオバルセロナ

①世界一を受賞した、シャビーナ。たっぷりのチョコレートムースの中には、ほんのりスパイスのきいたスポンジケーキとナッツが隠されています。濃厚でありながらも食べ進むことに味や食感変わる、奥深い一品です。 ②シャビーナ(店内1,080円; お持ち帰り864円) ③電話: 03-6427-3039 営業時間: 11:00~20:00(カフェL.O.19:30) 定休日: 年末年始



4 Summerbird ORGANIC

①デンマーク発100%オーガニックのチョコレートショップです。一番人気のクリームキスはふわふわのメレンゲクリームをチョコレートコーティングしたスイーツで、店内のラボで手作りされています。手土産にもおすすめです。 ②クリームキス 1ピース(60g) 648円、ミニサイズ1ピース(20g) 378円 ③電話: 03-6712-6220 営業時間: 10:00~20:00 定休日: 不定休



お店からのコメント

クラシックバニラとストロベリーの他、期間限定フレーバーも登場。ギフトボックス(ミニサイズ6ピース)1,944円もご紹介します。

5 UN GRAIN (アン グラン)

①作り手の想いが込められた、宝石のようなひとつまみの洋菓子のお店。季節に応じて生菓子、半生菓子、焼菓子が40種類もディスプレイされています。レギュラー商品のトゥタン ショコラはショコラを軸に濃厚に仕上がった大人の味です。 ②トゥタン ショコラ 470円 6個、12個ごとのギフトボックスもあります。 ③電話: 03-5778-6161 営業時間: 11:00~19:00 定休日: 水曜日



お店からのコメント

ひとつまみサイズの菓子“ミニャルディーズ”専門のパティスリー。菓子は店舗内にて一つ一つ丁寧に作っております。繊細な味わいは是非お楽しみください。



～ 薬剤室 ～

伊藤病院 薬剤室室長 仲田三佐子

当院薬剤室には薬剤師15名が在籍しております。主な業務は、調剤・病棟業務・注射調整・薬品管理・医薬情報提供です。

調剤業務は、入院・外来の内用・外用・注射薬を対象とし、一処方に対し処方監査・調剤・監査・引渡しと4名の薬剤師が関わります。処方監査では、カルテの記録(所見・検査データなど)を参照し、処方内容が適切であるかを確認します。必要があれば処方医に疑義照会を行います。その後、調剤者が処方箋通りに調剤し、監査者が確認して患者様に薬を引き渡します。しかし

ヒューマンエラーによる調剤ミスの可能性はゼロではありません。そこで、調剤ミスを防ぐ取り組みとして、昨年11月より「調剤監査システム」を



調剤ミスを防ぐための設備を導入しました。

導入致しました。人による監査に加え、システムで薬判別と重さによる総量監査を行うことで精度アップを図ります。同時に監査時の薬を撮影して、画像と監査データを保管し、過去の監査状況を確認できるようになりました。

病棟業務では薬剤師が病棟に常駐し、入院患者様の持参薬確認、処方された薬の服薬指導、副作用確認、退院指導、患者様やスタッフからの問い合わせに対応しています。副作用管理が重要となるがん薬物療法では、医師・看護師と共に患者様の病状・症状・薬の服用状況・副作用を把握し、副作用を最小限に抑え、治療が継続できるようチームで対応しています。注

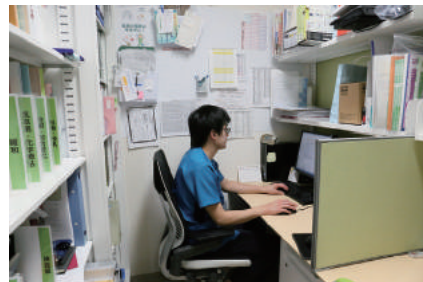


1日平均750枚の外来処方箋を1～2名体制で調剤します。

射調整は、抗がん剤のみ薬剤師が担当しています。抗がん剤は、取り扱うスタッフと患者様へ安全性の配慮が重要となります。このため、安全キャビネット(陰圧で設備内の空気を外に出さない仕組み)という設備内で、閉塞式(薬を漏らさない)器具を用いて調整・投薬し、抗がん剤による曝露を防いでいます。さらに薬の在庫管理、保管条件や有効期限などの品質管理、医薬情報提供(副作用情報収集、注意喚起など)と、私たちは薬を安全・適正・効果的に使用していただくために日々取り組んでいます。



入院当日患者様の持参薬を確認し、電子カルテに登録して管理します。



医薬品情報室に薬剤師が1名常駐し、情報発信をしています。



安全に抗がん剤を調剤するための設備・装備。



良性腫瘍

伊藤病院 外科 田中智章



【はじめに】

甲状腺のしこりは男性よりも女性に多く、若年者よりも高齢者に頻度が高いといわれています。しこりが大きくなれば頸部(くび)のしこりとして自分で気づくこともあります。痛みなどの自覚症状を伴うことは少なく、近年では動脈硬化を評価するための頸部エコー検査の際に甲状腺腫瘍として発見されることが増えています。

【診断】

甲状腺の良性のしこりには主なものに①濾胞腺腫、②腺腫様甲状腺腫、③甲状腺のう胞があります。視触診・採血・エコー検査・穿刺吸引細胞診(しこりの細胞を採取する検査)を組み合わせて診断を行います。

わが国では頻度は少ないですが、しこりの中には甲状腺ホルモンを過剰分泌するものがあり機能性結節と呼ばれます。機能性結節が疑われる場合にはシンチグラフィを追加します。

【治療】

良性のしこりと診断された場合には経過観察か治療を行うかを判断します。治療の適応は有症状(圧迫感など)、整容面の問題、大きなしこり、縦隔内への進展(甲状腺が鎖骨より下まで伸びた状態)などが考慮され、主な治療にはPEIT(経皮的エタノール注入療法)・手術があります。

PEITはしこりに針を刺してアルコールの一種であるエタノールを注入することによって細胞を壊死させる

治療法で、しこりの内部が液体成分主体のう胞において考慮されます。複数回行う事でしこりの縮小が得られることを目指しますが、4～6回行っても効果がない場合は手術を考慮することもあります。

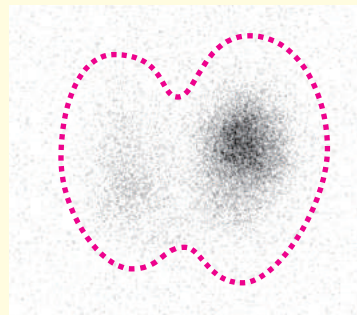
手術はしこりの数・場所により甲状腺の半分を切除する葉切除から、すべてを切除する全摘術があります。

経過観察をする場合には4ヶ月～1年毎に採血・頸部エコー検査でしこりの大きさ・性状の変化などを確認します。良性のしこりと診断された場合でも徐々に大きくなったり、性状が変化したりすることもありますので、定期的に診ていく必要があります。

シンチグラフィとは？

甲状腺はホルモンをつくるためにヨウ素を取り込む性質があります。シンチグラフィはこの性質を利用した検査で、微量の放射性ヨウ素を服用し、甲状腺がどのくらい、どの部分がヨウ素をとりこんでいるかを画像(シンチグラム)でみることができます。

右の写真では、黒い部分に機能性結節があり、この結節がヨウ素を取り込んでいることがわかります。





閉経前後10年間を「更年期」と呼び、その時期に現れるさまざまな症状を「更年期症状」、日常生活に差し障る状態を「更年期障害」と呼びます。更年期障害は閉経前後に女性ホルモンであるエストロゲン分泌が不安定になり減少していくことに加えて、心理的な要因、環境の変化にともなって生じると考えられています。

更年期障害の主な症状としては、ほてり、のぼせ、発汗の他、さまざまな身体症状(動悸、めまい、頭痛、疲労感、肩こり、胃腸障害、のどの渇き)、精神症状(情緒不安定、いらいらする、落ち込みやすくなる、不眠)があります。

更年期障害で認められる症状は、他の病気でも認められることがあります。発汗、ほてり、動悸、いらいらする症状は甲状腺機能亢進症の症状と重なります。本人は更年期症状と思っていたけれども、実は甲状腺ホルモンが高くバセドウ病と診断がつくこともあります。ほか、不整脈やうつ病など他の病気が無いかどうか診断することも大切です。

更年期障害のケア

更年期は年を重ねるなかでの通過点です。症状と向き合う中で、自分自身の生活習慣、生活リズムを見直して、上手に乗り切っていく工夫をしてみましょう。

環境の変化や身体の不調により感じるストレスを上手に発散させる工夫として、やりがいのある仕事や趣味を見つける努力をする、友人のネットワークを広げるのも助けになるかもしれません。

エストロゲンが減少することで、コレステロール値が上昇し、骨密度も減少しやすくなります。バランスの良い食事をとる、生活の中に楽しく続けられる運動をすることも特に大切になります。

不眠も更年期症状の一つです。睡眠がとれないことで疲労も増強します。就寝前は電子機器の使用は控えて脳を休ませる、リラックスできる音楽を聴くのも良いでしょう。

更年期障害の薬物

更年期障害の治療は婦人科で行い、ホルモン補充療法、漢方薬がよく用いられます。ホルモン補充療法とはエストロゲンを少量補充する治療であり、発汗、ほてりの症状に有効です。エストロゲン単独では子宮内膜増殖症のリスクがあがることから、黄体ホルモンと併用することがほとんどです。

漢方薬に即効性はありませんが継続することで症状が緩和することがあります。当帰芍薬散(トウキシャクヤクサン)、加味逍遙散(カミショウヨウサン)、桂枝茯苓丸(ケイシブクリョウガン)がよく用いられます。抑うつ気分は多くの更年期障害のかたが感じる症状ですが、不安感、焦燥感や不眠がづらい場合には抗不安薬、抗うつ薬で症状が緩和されることもあります。

加齢男性性腺機能低下症候群(LOH症候群)

性腺ホルモンの低下による不調は女性だけにおこるものではないことが知られるようになりました。男性ホルモンであるテストステロンが低下することにより引き起こされ、症状としては男性機能の低下、のぼせ、多感、倦怠感、頭痛、めまい、耳鳴りといった身体症状、不眠、無気力、いらいら、抑うつなど精神症状を伴うこともあります。泌尿器科で相談してみると良いでしょう。

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸

やました甲状腺病院の山下です。

今回は専門的な内容が含まれているので、理解しにくいかもしれません。頭の体操としてじっくり読んでいただくか、最後の重要な部分だけでもわかっていただきたいと前もって申し上げます。

さて、今回はパセドウ病患者さんの手術後ではテタニー（低カルシウム血症をきたして、四肢の痙攣を生じること）の頻度が高くなり、その原因としてビタミンD不足が疑われ活性型ビタミンD(1,25 (OH)₂ビタミンD)濃度を測定するとテタニーが生じた患者さんでは有意にビタミンD濃度が高い結果となり、予想に反した結果だったという内容でした。その後、文献を調べると、ビタミンD不足を判定するには、25水酸化ビタミンD(25 (OH)ビタミンD)であることがわかりました。その当時は25 (OH)ビタミンD濃度を保険で検査することはできませんでしたが、研究用として検査会社に測定依頼すると、1,25 (OH)₂ビタミンDとは反対の結果となりました。つまり、テタニーが生じた患者さんでは生じなかった患者さんに比較して、25 (OH)ビタミンDは有意に低く、1,25 (OH)₂ビタミンDは有意に高かったという結果でした。前者では術前の副甲状腺ホルモン(PTH：血液中のカルシウム濃度を調整するホルモンで低下すると、低カルシウム血症となる)が高かったことより、ビタミンD不足による続発性副甲状腺機能亢進症の病態と判断しました。PTHは腎臓において、25 (OH)ビタミンDの1 α 水酸化を活性化させる作用があるので、1,25 (OH)₂ビタミンDが高くなっていたことを説明することができました。研究開始時点で、カルシウム、PTH、ビタミンD、骨代謝に関して十分な基礎知識があれば、最初の検査結果を得た時点で悩まなかったでしょうが、今となっては非常に良い経験と思っています。

この臨床研究で、パセドウ病患者さんではビタミンD不足がかなり多く存在し、それが続発性副甲状腺機能亢進症を引き起こしていることがわかりました。そこでパセドウ病術後のテタニー発症の機序として、“治療を受けていないパセドウ病患者さんでは、甲状腺ホルモンの直接作用により骨からカルシウムが溶け出す(骨が弱くなる)ため血液中のカルシウム濃度は高めになるが、抗甲状腺薬の内服で甲状腺ホルモンが正常化するとカルシウムが骨の回復(骨が強くなる)のために使われるので、カルシウム・ビタミンD摂取が十分でない場合には相対的カルシウム不足が生じ、術後のテタニーの発生が高くなる”と推察しました。パセドウ病患者さんでは治療後カルシウムやビタミンD需要量が増えることを考慮し、それに見合う量のカルシウムやビタミンDの摂取をすすめています。下記のことを追加しておきますので、パセドウ病の患者さんだけでなく、皆様もビタミンD不足には注意してください。ビタミンDは日光(紫外線)をあたることにより皮膚で生成され、また食事としても摂取されます。しかし、紫外線の皮膚への悪影響(主として美容の問題ですが、皮膚がんや白内障の発症にも関与します)もあり日光を避けるようになってきました。食事に関しては、ビタミンDを多く含有する魚やキノコ類の摂取量が少なくなっています。これらのことを考えると、現代人(特に女性)はビタミンD不足に陥りやすいことがわかります。



医療法人福甲会
やました甲状腺病院

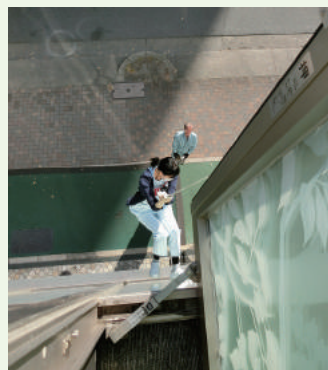
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8
<http://www.kojosen.com/index.html>
TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

名古屋甲状腺診療所にて消防訓練を実施しました

名古屋甲状腺診療所 事務長 高田博史

昨年11月21日に、消火訓練と避難器具をもちいた訓練を行いました。

火災発生時には、なによりも初期消火が重要です。当日は、はじめに診療所屋上で消火訓練を行いました。水が注入された消火器を使用して、火元を模したバケツめがけて放水し、消火器の操作を習得しました。実際に火災が起きた場合、各フロアーへ設置している消火器を使用して迅速に対応できるよう本番さながらの訓練で、参加した職員からは訓練の積み重ねにより、防火意識を高める火災予防に努



めていきたいとの意見がありました。

続いて、2階待合ロビーと3階医局の窓際へ設置している避難器具を用いた訓練を行いました。最初に避難ロープとベルトの装着方法を教わり、続いて実際に3階から地上まで避難ロープを使用して降りる実地訓練を行いました。初めてこの器具を使用した職員もおり、はじめは垂直に降りることの恐怖心から、少し時間がかかったもののスムーズに行うことができました。医師、事務、看護と職員全員が一体となって、今後の備えとしてしっかり覚えておきたいと思っています。

消防訓練は消防法により実施を義務付けられているものでもあります。万が一の場合にも、この訓練を生かして患者様の安全確保のため、職員一人ひとりが冷静に行動できるように引き続き実施していきたいと考えています。

名古屋甲状腺診療所(旧 大須診療所)

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308
HP：kojin-kai.jp/nagoya



第70回さっぽろ雪まつりが開催されました

さっぽろ甲状腺診療所 事務長 澤井敏樹

今年も札幌の冬の風物詩、さっぽろ雪まつりが2月4日から11日まで開催されました。

さっぽろ甲状腺診療所を開院してから2回目の雪まつりです。例年国内外から約250万人が訪れる北海道でも最大のイベントで、今年は平成最後で、70回目という記念の年でもありました。また、最近は外国人、特に中国や東南アジアの観光客がとても多くなった印象です。

さっぽろ雪まつりと言えば、大通公園に作られる大雪像が有名ですが、市民雪像も100基ほど作られます。毎年その年に話題となった雪像が制作されますが、今年は女子テニスで全米、全豪オープンに優勝した北海道にルーツ(おじい様が根室市在住)を持つ大坂なおみ選手の雪像がお目見え、多くの皆さんが記念撮影をしていました。また25回目から国際雪像コンクールも行われており、今年も9カ国のチームが参加、なんと優勝はふだん雪とはゆかりのないタイのチームでした！来年はわがさっぽろ甲状腺診療所も「市民雪像コンクールに参



大坂なおみ選手



タイのチームの作品



加！」と意気込んで調べてみると、かなりの応募があり、当選するのも至難の業のようです。いつかみんなでも参加できることを夢見つつ、会場を後にしました。北海道も雪まつりが終わりますとだんだんと春に近づいて参ります。

さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10
ITOメディカルビル札幌5F
電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439
HP：kojin-kai.jp/sapporo



日本の国蝶 オオムラサキ

伊藤病院やVoiceのロゴマークの中に蝶々が入っているのにお気づきでしょうか？



甲状腺は本来「甲(かぶと)のような腺」という意味ですが、その形はむしろ蝶々が翅(はね)をひろげた形に似ています(甲状腺は蝶状腺?)。そのため、甲状腺疾患のシンボルマークには、しばしば「蝶々」が登場するのです。私は甲状腺疾患の病理(診断)学を専門としていますが、子供の頃から蝶が好きで、日本国内や海外で蝶の写真を撮影してきました。そこで、これまで撮影した蝶の写真の中からいくつかピックアップして紹介してみようと思います。

オオムラサキが日本の国蝶に選ばれたのは、国鳥にキジが選定された1947年から遅れること10年の1957年です。世界各国には、それぞれを象徴する国花や国鳥というものがあります。日本の国花は桜、国鳥はキジ、ということは動植物にことさら興味がない人でも広く知られています(小学校や中学校の授業で教わる)。ところが、国蝶というと、一般の人にはなかなかピンときません。例えば、表参道の街角を歩く若者(若者でなくても良いですが)に、日本の国蝶は何ですか?と聞いたとしたら、いったい何人が「オオムラサキ」と答えられるで

しょうか……多分、3分の1にも達しないかもしれませんね。国蝶といっても、その認識はまだ低いと思います。



オオムラサキはベトナム北部から台湾、中国東北地方にまで及ぶ東アジアの広域分布種ですので、必ずしも日本の自然環境を代表する蝶ではないといえます。でも、タテハチョウの仲間では世界でも最も大きなものの一つで、とくにオスの翅表に広く輝く青い幻光は、何度見ても感激してしまいます。これほど美しく大型のタテハチョウは国際的にも誇れるものなのでしょう。つまり、「日本における代表的な大型美麗種」という観点からは申し分ない要素を持った蝶ということで日本の国蝶に選定されたのです。

青空をバックにして、雑木林の梢をオオムラサキがゆうゆうと滑空する姿は、日本の里山の原風景としていつまでも残しておきたいものです。

Voice へのご意見をお寄せ下さい

いつも伊藤病院広報誌「Voice」をお読みいただき、ありがとうございます。

Voiceは、2003年の創刊以来、取材から記事の執筆まですべて院内のスタッフによる手作りで発行しています。年4回発行しておりますが、ご病状が落ち着いて来院間隔が広がった患者様から、前号のVoiceがほしい、というお話を伺うこともあり、スタッフ一同、毎号気持ちを引きしめて取り組んでおります。

これからも、より多くの方々にお読みいただけるような誌面を作ってまいりますので、皆様からのご意見、ご要望を、ぜひ院内1Fに設置のご意見箱にお寄せください。

この度、下記のご意見をいただきましたので、ご意見への対応と合わせてご紹介いたします。

ご意見

確認くんに設置されているVoiceが最新号ではありませんでした。

回答

すみませんでした。いつも最新号をお届け出来るよう、周知いたします。

ご意見

毎号楽しみにしています。昔の表参道や原宿・代々木公園等の写真もとても興味があります。

回答

励みになるお言葉ありがとうございます。今号より新コーナー「虫林火山先生の蝶たち」をスタートしたのですが、折りをみて表参道周辺の歴史をご紹介するコーナーも準備したいと思っております。

ご意見

紹介されているお店について、メニューがヨウ素制限に該当するか、また禁煙かどうか分かるかとありがたいです。(注：アイソトープ検査・治療等を受ける方は、一定期間ヨウ素の摂取が制限されます)

回答

ヨウ素は多くの食材・調味料に含まれており、レシピも変更になる場合がありますので、お応えするのが難しいのですが、禁煙等については今号よりお店の情報欄に掲載して参ります。

今後とも、『Voice』を
よろしくお願
いいたします。



伊藤病院 広報誌委員会より

2019年 大型連休による外来診療休診と 5月・6月の学会について

祝日・休日が続く4月28日(日)～5月6日(月)の間は、外来診療を休診とさせていただきます。長期の休診となるため、連休前後は混雑する可能性もございますので、早めのご来院などをご検討下さいますようお願い申し上げます。

また、5月9日(木)～11日(土)は日本内分泌学会学術総会が、6月13日(木)～14日(金)には第31回日本内分泌外科学会総会が予定されており、この期間は医師の外来休診・代診が多くなります。

患者様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

日	月	火	水	木	金	土
4月						
21	22	23	24	25	26	27
休診	通常診療					
	昭和の日	国民の休日	5月 即位の日	国民の休日	憲法記念日	みどりの日
28	29	30	1	2	3	4
← 休診 →						
こどもの日	振替休日					
5	6	7	8	9	10	11
← 休診 →		通常診療		※9日～11日は学会のため、 医師の休診・代診が多くなります		

2019年5月9日(木)～11日(土)

第92回日本内分泌学会学術総会

2019年6月13日(木)～14日(金)

第31回日本内分泌外科学会総会

2019年2月 伊藤病院

学会活動

第28回 臨床内分代謝Update(福岡・11/2～3)

- 北川 亘 「エクルーシス試薬FT4 IIIを用いた基礎的・臨床的検討」
 吉村 弘 シンポジウム「超高齢社会を迎えての甲状腺中毒症の管理」
 渡邊奈津子 コメンテーター「診断・治療に難渋した症例2 甲状腺」



北川診療技術部部长



吉村内科部長



渡邊内科医長

第54回 全国病院経営管理学会(東京・11/9)

- 伊藤公一 座長「検査室の働き方改革～女性スタッフ支援と臨床検査技師の価値～」



第57回 日本臨床細胞学会秋期大会(横浜・11/17～18)

- 渡邊奈津子 シンポジウム「甲状腺リンパ腫の臨床・トピック」
 佐々木栄司 シンポジウム「甲状腺リンパ腫の超音波像」
 田村 恵 シンポジウム「細胞診判定技術 甲状腺領域」
 渡辺亜美 シンポジウム「甲状腺腫瘍新WHO分類の細胞診へのインパクト 濾胞性腫瘍について」
 加藤良平 座長「甲状腺腫瘍新WHO分類の細胞診へのインパクト」

第6回 Point-of-Care超音波研究会(東京・1/19～20)

- 國井 葉 「Point-of-care 頸部 一甲状腺一」

The 4th Clinical Immersion Program for Thyroid Surgery in Ito Hospital (東京・1/23)

- 北川 亘 「甲状腺腫瘍の診断と治療」



第437回 国際治療談話会例会(東京・1/24)

- 伊藤公一 座長「日帰り手術の実際」



講演活動

エーザイ株式会社「MR実践研修」(東京・11/12)

- 長瀨充二 「これまでにレンビマを使用した症例について 今後レンビマが適応となりうる症例について」

LENVIMA Meet The Expert(東京11/30)

- 正木千恵 特別講演「レンバチニブの導入タイミングとQOS最大化のための実際」

ロシュ 秋田県甲状腺セミナー (秋田・12/21)

- 長瀨充二 「甲状腺疾患の診断と治療—診断を中心として—」

第28回 Oita Society of Community-Medicine(大分・12/22)

- 鈴木章史 特別講演「明日から役立つ?! 甲状腺・副甲状腺診療あれこれ」

e-Thoth Theater『Zero Complications+伊藤病院式 安全な甲状腺手術はこうやる! Vol. 1』(12/22)

- 北川 亘 「司会」 「バセドウ病の治療」
 大桑恵子 「バセドウ病手術」

表紙no写真

上空から見た表参道

今回の表紙no写真は、趣向を変えて上空から見た表参道です。

下が表参道の交差点で、上に左右に広がっている緑が明治神宮となります。夏に撮影した写真ですが、こうしてみると、ビルに囲まれた中に広がる緑のオアシスといわれるのがよく分かります。また、一直線に伸びる表参道の榎並木も壮観ですね。(伊藤病院がどこにあるか見わかりますか?)

この緑の道は、神宮のある北西方面から南東に延びる、1キロちょっとの長さになります。これからの季節、木漏れ日を浴びながら表参道を散策するのも気持ちよいものです。(熊野)



編集後記

少しずつ寒さも和らぎ春の訪れを感じる季節になり、お出かけするのに心地よい時期になりました。

Voice春号はいかがでしたか。お楽しみいただけましたでしょうか。

今号の特集は「プチ贅沢を味わおう」です。

気になるお店はありましたか? プチ贅沢といっても幅広いですが、私にとっての贅沢は甘い物を食べる! です。いつも頑張っている自分へのご褒美に表参道をお散歩しながら立ち寄り調べてみてはいかがでしょうか。

それではVoice夏号もお楽しみに!

(高根沢)

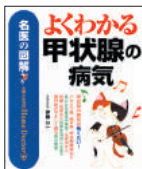
甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新版「甲状腺の病気の治し方」

監修: 伊藤公一
定価: 1,404円(税込)
発行: 講談社



「名医の図解 よくわかる甲状腺の病気」

著者: 伊藤公一
定価: 1,400円(税込)
発行: 主婦と生活社



「ウルトラ図解 甲状腺の病気」

監修: 伊藤公一
定価: 1,620円(税込)
発行: 法研



「よくわかる 最新医学 甲状腺の病気」

監修: 伊藤公一
定価: 1,512円(税込)
発行: 主婦の友社



「患者のための最新医学 バセドウ病・橋本病・その他の甲状腺の病気」

監修: 伊藤公一
定価: 1,300円(税込)
発行: 高橋書店



「図解 甲状腺の病気がよくわかる 最新治療と正しい知識」

監修: 伊藤公一・高見博
定価: 1,510円(税込)
発行: 日東書院



安全! 便利! おいしい! 甲状腺専門・伊藤病院がおくる ヨウ素制限食レシピ

監修: 伊藤公一
編集: 北川巨
定価: 1,728円(税込)
発行: 全日本病院出版会

発行 2019年3月1日発行 第65号 伊藤病院広報誌委員会

ITO HOSPITAL 伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : http://ito-hospital.jp